

<靈的備え>

神よ あなたの恵みは、なんと尊いことでしょう。人の子らは 御翼の陰に身を避けます。
彼らは あなたの家の豊かさに満たされ あなたは 楽しみの流れで潤していただきます。
いのちの泉はあなたとともにあり あなたの光のうちに 私たちは光を見るからです。
(詩篇 36：7-9)

<理解の手引き>

おいのロトは、アブラム (アブラハム) が、ウルの地を出発した時からいつも一緒でした。そして、アブラム (アブラハム) の故に、ロトは主の豊かな祝福にあずかることができ、非常に富む者となりました。

しかし、富は時に、人を高ぶらせ、問題をもたらすこともあります。事実、アブラム (アブラハム) とロトとの間にも争いが起こり、二人は分かれて住むことになりました。ロトは、目を上げて、ヨルダンの低地全体を見渡しました。ヨルダンの低地は、隅々までよく潤っていて作物や牧草が豊かであるように思われたのです。

ロトは、それらの町の繁栄に心を奪われ、その地を自分の定住地として選んだのでした。しかし、そこに住む人々は、主に対して、道徳的にも靈的にも、非常に墮落した罪人であったのです。物質的繁栄は、多くの場合、神に対する不信仰と不道徳をもたらすものです。

<考えてみよう>

(観察) アブラム (アブラハム) とロトとの間に、どんな問題が生じましたか？
アブラム (アブラハム) は、それをどのように解決しましたか？

.....

.....

.....

(解釈) 何故、ロトは、ヨルダンの低地全体を選び取ったのでしょうか？
その時の、彼の決断の基準は何でしたか？

.....

.....

.....

(適用) あなたが、何か大切な決断をする時、その判断基準は何ですか？

.....

.....

.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....

.....

.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....

.....

.....